

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日本8月鉱工業生産)

2018/9/28

りそなホールディングス 市場企画部

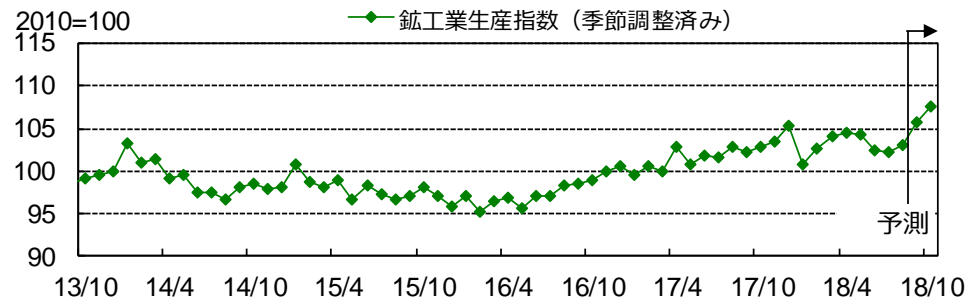


〇概況

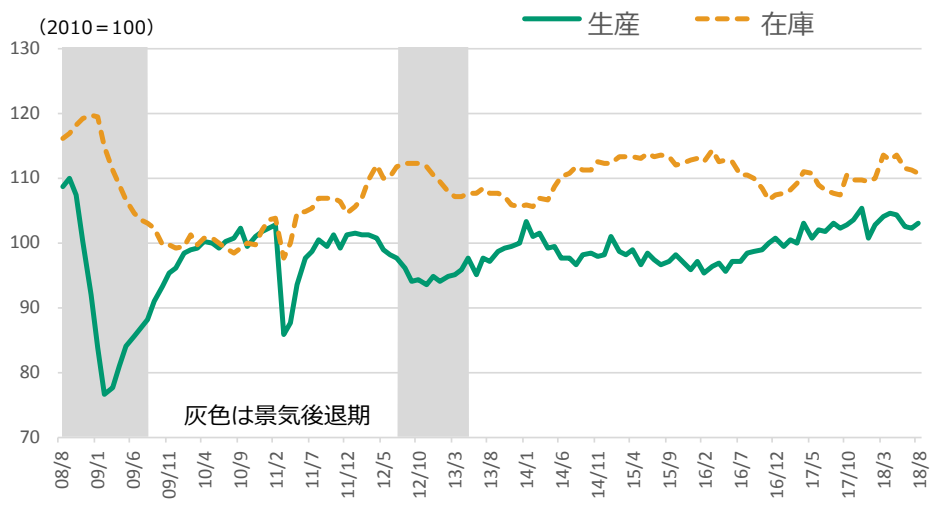
- ◆ 8月鉱工業生産、前月比+0.7%と前月から上昇
- ◆ 基調判断は「緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」と据え置き
- ◆ 生産予測調査を加味すると7-9月期はマイナスの可能性も

- ✓ 8月の鉱工業生産は前月比+0.7%と、前月から上昇。出荷は+2.1%と上昇、在庫は▲0.4%と低下。また、出荷に対する在庫の割合である在庫率は▲2.2%と低下。
- ✓ 基調判断は「緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」と前月から据え置き。
- ✓ 生産の業種別では、15業種中10業種が上昇。はん用・生産用・業務用機械(+5.6%)、輸送機械(+5.2%)、パルプ・紙・紙加工品(+4.5%)などが上昇。
- ✓ 出荷の業種別では、15業種中9業種が上昇。輸送機械(+6.8%)、窯業・土石製品(+4.8%)、はん用・生産用・業務用機械(+4.3%)などが上昇。
- ✓ 在庫の業種別では、15業種中8業種が低下。電気機械(▲3.2%)、繊維(▲2.1%)、窯業・土石製品(▲2.0%)などが低下。
- ✓ 予測調査では9月+2.7%、10月+1.7%の見通し。(ただし予測調査には上方バイアスがあり、経済産業省によるバイアス調整した先行き試算値は9月+0.2%となる。)

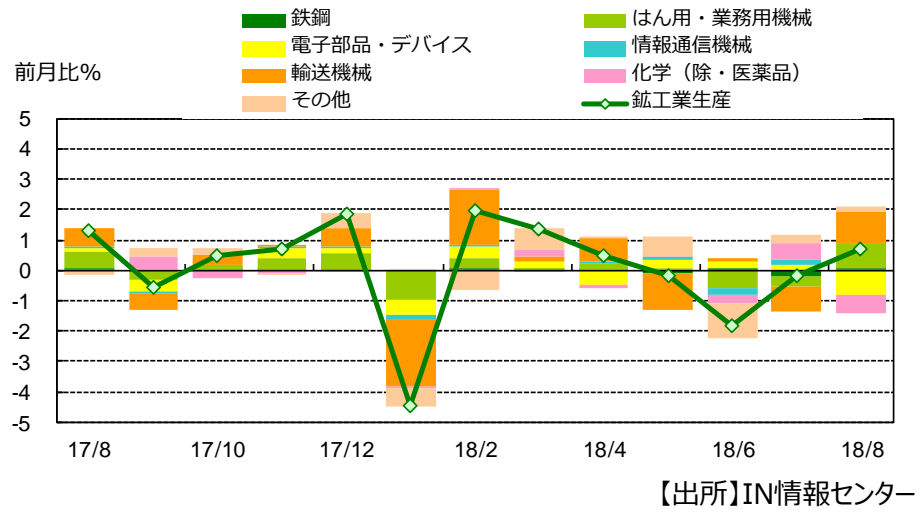
【鉱工業生産 (指数)】



【生産と在庫の推移】



【鉱工業生産(寄与度)】



◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。